ふれあいネットワーク

りくぜんたかた社協（しゃきょう）だより

11月号　No.140
２０２２年１１月１６日 発行

【ホームページ】
https://www.rikutakashakyo.jp/

QRコード

陸高社協　検索

《今月の表紙》

福祉バス「やっとかめ号」

地域福祉活動に福祉バス貸出事業を開始しました。
りんご学童クラブ
社会科見学でバス利用の様子!!

【　主な内容　】

◆令和４年度陸前高田市福祉大会・・・・・・・・・・・・・・２～３
◆地域支え合い活動推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
◆令和４年度岩手県社会福祉大会・教育支援資金ご案内・・・・４
◆赤い羽根共同募金助成事業のご案内・・・・・・・・・・・・・５
◆女性用品サポート事業ミモザプロジェクト・・・・・・・・・・６
◆しおさいの家各種活動の様子・・・・・・・・・・・・・・・・７
◆こんにちは赤ちゃん訪問事業・老人クラブ連合会ご案内・・・８

この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

令和４年度　陸前高田市福祉大会

第４２回陸前高田市社会福祉大会・第５４回陸前高田市老人福祉大会　表彰式典

令和４年度陸前高田市福祉大会は、10月17日（月）陸前高田市コミュニティホールにて開催されました。

令和２年度より新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止や縮小など形を変えて表彰者を顕彰してきましたが、今年は3年ぶりの大会となりました。

表彰式典では、長年にわたり地域福祉活動に功績のあった23名、１団体の方々へ表彰状や感謝状が贈られ、受賞者を代表して、陸前高田地区更生保護女性の会　吉田弥津子氏より謝辞が述べられました。

その後、地域共生社会の実現を目指すための2項目を掲げた「大会宣言（案）」が提案され、来場者からの大きな拍手で承認されました。

記念講演の様子

表彰式典（表彰）

会場の様子

代表謝辞

大会宣言

表彰者一覧　（敬称略）

第４２回陸前高田市社会福祉大会

陸前高田市社会福祉協議会会長表彰

■　社会福祉事業功労者（５名）

≪ 民生委員・児童委員 ≫≪ 社会福祉団体等役員 ≫

- 久　納　　豊
- 吉　田　弥津子
- 佐々木　淳　子
- 熊　谷　幸　子
- 千　葉　美　加

■　褒章（３名）

- 佐　藤　富美子
- 釜　石　セチ子
- 吉　田　鮎　子

陸前高田市民生委員児童委員協議会会長表彰

■　在宅介護功労者（４名）

- 伊　藤　ユウ子
- 小　山　留　美
- 中　野　ヤス子
- 佐々木　元　子

第５４回陸前高田市老人福祉大会

陸前高田市老人クラブ連合会会長表彰

■　老人クラブ育成指導功労者（７名）

- 及　川　キヌヨ
- 金　澤　勝　敏
- 神　田　梅　代
- 菅　野　鈴　子
- 菅　野　三津子
- 佐々木　敏　夫
- 吉　田　悦　子

■　福祉事業功労者（１名）

- 小野寺　彦　宏

中央共同募金会会長感謝状伝達（１名）

- 菅　野　直　人

岩手県共同募金会会長感謝状伝達（２名、１団体）

- 岡　田　耕　吉
- 坂　下　和　正
- 陸前高田市保健福祉総合センター

令和４年度陸前高田市福祉大会　記念上映・講演

ぼけますから、よろしくお願いします。

社会福祉を推進することを目的に、映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を放映し、監督の信友 直子 氏より講演を行っていただきました。

監督：信友　直子　氏

【映画について】

認知症の患者を抱えた家族の日々を、娘である「私」の視点から丹念に描き、日々の介護の辛さだけではなく、家族のきずなや家族の愛、老々介護の現実など、現代の課題を含んだ内容ではあっても家族の愛をユーモアたっぷり描かれたドキュメンタリー映画です。

【講演について】

信友監督からは、「認知症は特別なことではなく、誰しもがなりうるもの。認知症の家族をお世話することは決して楽なことではないが、なくなったものを悲観せず、家族は多くの笑顔をみせることができるよう、介護保険制度を利用したり、第三者に協力してもらうことが大事であり、家族がいかなる時にも常に前向きに接することが大切である」等、体験を踏まえた貴重な講話をいただきました。

地域支え合い
推進員座談会

地域支え合い活動推進事業

10月18日（火）「令和4年度第一回地域支え合い推進員座談会」が開催されました。
推進員の自己紹介は7つの項目から好きなものを選んでエピソードを交えながら行われました。会は和やかな雰囲気で始まり、各地域の共通課題として「ゴミ問題」についてそれぞれの地域での情報交換がされ、「将来的にゴミステーションまで持っていけるか」等の共通課題、課題解決には、地域住民同士の助け合い、支え合いが必要不可欠だと言う事を確認しました。

その他、回覧板を使用した生存確認や防災についての提案もあり活発な意見交換が行われました。

座談会後半はフリートークで行われ、各地域の出来事等の話で盛り上がりました。

次回の開催が楽しみのとの声をいただき閉会となりました。

（推進員座談会の様子）

【問い合わせ】電話：５４-５１５０／５１５１　担当：黄川田（正）、和泉、吉田

第７５回　岩手県社会福祉大会

～共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指して～

第７５回岩手県社会福祉大会は、10月28日（金）岩手県民会館大ホールにて開催され、本市からは次の方々が表彰されました。

式典後は「東日本大震災津波から11年～今ふるさとの地と人を思う～」をテーマにトークセッションが行われました。

表彰者一覧　（敬称略）

岩手県社会福祉大会長表彰

■社会福祉事業功労者（５名）

≪民生委員・児童委員 ≫

- 鈴　木　善　久
- 吉　田　幹　夫

≪ 民間社会福祉施設役職員≫

（福）燦々会

- 西　條　一　恵
- 近　江　ひろみ
- 戸　羽　　泉

■ 永年勤続功労者（４名）

（福）陸前高田市保育協会

- 大　橋　小百合
- 佐　藤　和　美
- 金　　香
- 菅　野　美　加

岩手県民生委員児童委員協議会長表彰

■ 永年勤続民協会長・副会長 （２名）

- 村　上　尚　章
- 佐　藤　純　子

大学・短期大学・専門学校※に進学される方へ

生活福祉資金

教育支援資金のご案内

教育支援資金は、低所得世帯（生活保護世帯を含む）に対して、高等学校、大学、高等専門学校への就学に必要な費用を無利子で貸し付けするものです。

教育支援資金には「教育支援費」（授業料、定期代等）と「就学支度費」（入学金、制服・教科書の購入費）の２つの資金種があります。

※ 世帯の状況に応じて、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関等の支援を利用いただく場合があります。

日本学生支援機構奨学金と生活福祉資金との優先関係

1　給付型奨学金
2　第一種奨学金（無利子）
3　生活福祉資金（教育支援資金）
4　第二種奨学金（有利子）

※「就学支度費」は上記優先に関わらず利用できます。

▶ 申請には、地域の民生委員さんの意見書が必要になります。

▶ 陸前高田市社協での相談受付、申請手続き後、岩手県社協で審査、決定となります。

※ 申請から決定までに約１ヶ月程かかりますので、日程に余裕を持ってご相談ください。

▶ ご相談の際には、事前にお電話にて予約のうえ、来所してください。

資金種		貸付限度額
教育支援資金	教育支援費	① 高等学校（専修学校高等課程含む） 月額　35,000円以内 ② 高等専門学校 月額　60,000円以内 ③ 短期大学（専修学校専門課程含む） 月額　60,000円以内 ④ 大学 月額　65,000円以内 ※ 上記の貸付限度額では学費が不足する場合など、一定の要件に該当する場合には、教育支援費の貸付限度額を1.5倍とすることが可能です。
	就学支度費	500,000円以内
据置期間 ： 卒業後6ヶ月以内、償還期間：20年以内 貸付利子 ： 無利子		

【問い合わせ】　電話：54-5150/5151　担当：松本

陸前高田市共同募金委員会より助成金のお知らせです

令和５年度 ふるさと福祉助成
（旧：たかたのまちを良くする福祉活動助成）

陸前高田市社会福祉協議会は、「じぶんの町を良くする活動」を応援することを目的に誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住民自らが参画し活動する地域づくり・福祉のまちづくりを推進する事業に対し公募型助成を行います。

この福祉助成をとおして、地域の力が高まり、活動が活発化されることで、自分の町に寄せられた募金が、地域で取り組まれる活動の支援に役立っていることの理解を促進し、共同募金の協力へつなげることで、「助成と寄付の循環」を推進するものです。

●募集期間
令和４年１０月20日（木）から１１月３０日（水）

●事業実施期間
令和５年度（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

●応募対象団体
① 市内に拠点を置き、住民の福祉向上等を目的に活動する民間団体、ボランティア団体、グループであること。
② 団体（町内会・自治会を含む）は、住民5名以上で構成されていること。
③ 公益的な活動を基本とし、営利を目的としていないこと。
④ 定款、会則等が整備されていること。
※ いずれの団体も共同募金の趣旨を理解し、運動に積極的に参加・推進する団体で、令和5年度に街頭募金等の募金活動に協力できる団体であること。

●対象活動
市内で福祉活動を行う高齢者、障がい者、児童等の福祉向上、地域課題の解決、支え合い等を目的とした自主的・積極的な活動に資する事業であり、助成を受けることにより、効果を十分に発揮できる事業であること。ただし、行政等からの補助、他民間団体からの資金援助のある事業は、特別な場合を除き、原則として助成対象としない。

●助成額
１団体につき総事業費の90％以内で8万円を上限とする。（千円未満切り捨て）

赤い羽根共同募金による

令和5年度 福祉のまちづくり支援事業

岩手県共同募金会では、福祉サービスを行う団体の「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を支援し、住民参加による福祉地域において身近な福祉課題に取り組んでいる団体や、住民に向けた福祉サービスを行う団体等、住民に向けたコミュニティづくりを推進するため、助成事業を募集しております。

●募集期間
令和４年１０月１４日～令和４年１２月１５日

●事業実施期間
令和５年度（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

●助成対象団体
地域福祉の向上を目的に活動するボランティア・ＮＰＯ団体
町内会・自治会等の任意の住民グループ

●助成対象経費
（１）高齢者、障がい児・者、幼児・児童、その他住民を対象に行う地域での福祉活動に直接使用する機器・用具、備品（以下「機器等」）の購入経費
注）福祉活動と関係しない機器や、福祉活動に使用する頻度が低い機器等については助成対象となりません。
（２）地域で福祉活動を行う団体の活動拠点の立ち上げに必要な機器等の購入経費

●助成額
１万円から２０万円まで（千円単位で助成）

※上記助成金についての詳細は社協ホームページにも掲載しております。
ホームページhttp://wwwrikutakashakyo.jp

【問い合わせ】陸前高田市共同募金委員会
電話：54-5150／5151　担当：小山

生理用品の購入に困っていませんか？　誰もが自分らしく安心して暮らせる“りくぜんたかた”に

生理用品サポート事業

ミモザプロジェクト始動！

ミモザプロジェクトは、コロナ禍、物価高などの影響より、生活課題が深刻化しやすい今日において、生理用品を用意するのが困難な方に生理用品を無償で提供する事業です。また、本事業をきっかけに、市民全体で生理に対する理解を深めることで、誰もが自分らしく安心して暮らせる“りくぜんたかた”を目指す取り組みの一環として実施します。市内施設へ協力を呼びかけながら事業推進を図ります。

①困っている時にお使いください

市内の協力施設の女性トイレや保健室へミモザBOXを設置します。

※設置場所は社協ホームページを、ご確認ください。
※設置場所は順次、追加予定です。

社協ホームページ
QRコード

困ったとき、遠慮なく、いつでもお使いいただけます。

→今買えなくて手元にない、
→急に必要になった、
→忘れてしまった、　など

※他にも必要とする方がいます。数に限りがありますので、みんなで大切に使いましょう。
▶枚数が必要な方は窓口にて、別途提供します。

BOXにミモザカードをおいています。必要な方は、1枚お取りください。

相談をご希望の方、購入が困難で枚数が必要な方は、カードをお手に取り、くらし応援窓口へご相談ください。

②購入が困難な方へまとめて（1袋）提供します
生活上の相談に応じ、必要な窓口へつなぎます

ミモザカードを提示してください。窓口のポップや携帯画面で示していただいてもOKです。

受け渡しは女性職員が、対応します。ご安心ください。

※事前に電話や公式LINEでご予約いただけるとスムーズです。

生理用品の悩みに限らず、さまざまな相談ができます。

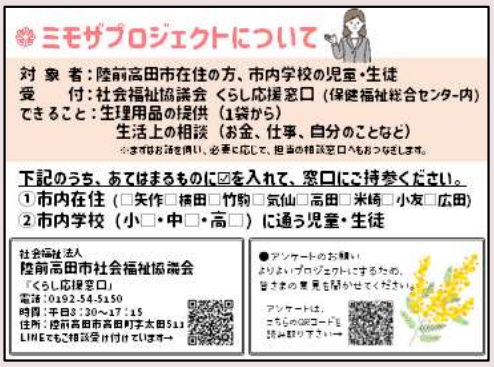
→娘に買ってあげられない
→収入が少なくて家計が大変
→税金・公共料金の支払いに困る
→家族など人間関係で悩んでいる
→進学・就職に不安がある、など

※まずはお話を伺い、必要に応じて、担当の相談窓口へもおつなぎいたします。

○設置イメージ

市内施設への設置イメージとなります。

○ミモザカード



○お問い合わせ先

社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会『くらし応援窓口』
陸前高田市高田町字太田511（保健福祉総合センター内）　TEL　0192-54-5150/5151

くらし応援窓口公式LINE→

社協ホームページ↑

通所介護事業所「しおさいの家」

各種活動の様子

しおさいの家では、入浴、機能訓練のほかにも趣味活動としてさまざまな活動をしております。

バスハイクや工作、輪投げ等、どの活動もみんなでワイワイとにぎやかに行っております!!

（パズル）

（工作）

（公園へバスハイク）

（かるた取り）

（輪投げやボーリングも行います）

敬老会の様子

今年も「しおさいの家」では３日間に分けて敬老会を開催いたしました。

皆さんお元気に敬老の日を迎えられ、ビンゴ大会や、職員の踊りなど、にぎやかな時間になりました。

（9月13日）

（9月21日）

（9月15日）

99歳（白寿）齋藤さん
ビンゴゲーム
楽しみました♪

「いつまでも
お元気でお過ごし下さい」

【問い合わせ】通所介護事業所 「しおさいの家」 電話：47-4316　担当：佐藤

こんにちは

赤ちゃん訪問

８月生まれの赤ちゃん（ご家族）をご紹介

はせがわ　ゆうか
長谷川　祐香ちゃん
（小友町）

「こんにちは赤ちゃん訪問」は、お祝いをするとともに、子育ての不安や悩みをお聞きし、必要に応じて適切なサービスにつなぐなど、お子様の成長を地域で見守るきっかけづくりを目的としています。

少子化が進む本市。出生を祝い記念品を届けるとともに、地域の民生児童委員さんにご協力いただき、毎月発行の『社協だより』赤ちゃん訪問で紹介しております。

お困りごとなどありましたら、お気軽に地域の民生委員へご相談ください。
写真掲載へのご協力ありがとうございました。

民生委員
児童委員

こんにちは赤ちゃん訪問事業は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

陸前高田市老人クラブ連合会

第9回ふれあいグラウンド・ゴルフ交流大会開催

【男子の部】１位　　村上　一孝　氏　（高田GG）

【女子の部】１位　　村上　照子　氏　（世田米GG）

１１月1日午前９時から高田松原運動公園第1サッカー場を会場に「第9回ふれあいグラウンド・ゴルフ交流大会」が、陸前高田市老人クラブ連合会、住田町老人クラブ連合会、陸前高田市・住田町の両グラウンドゴルフ協会の共催により開催されました。本大会は、東日本大震災により練習場を失った陸前高田市の愛好者を激励しようとのことから住田町老人クラブ連合会が、住田町を会場に平成24年度に開催されたことにはじまり、今年は、陸前高田市で初めて開催されました。陸前高田市５９名、住田町４４名が参加。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年中止となり、久々の開催は晴天の下開催されました。コロナ禍により、人と人との交流が控えられウズウズしていた参加者は、楽しそうに歓声をあげながら久々の交流を楽しんでいました。

令和４年度　介護予防教室　　いきいきライフ開催日のご案内

12月からは第２弾として、「ニュースポーツ」を行います。スケジュール及び、内容の詳細につきましては、今後各地区に配布されるチラシにてご確認ください。

【内容】ニュースポーツ

※ニュースポーツとは、軽スポーツ、やわらかいスポーツ。一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむ身体運動のことです。

開催地区	開催日	対応クラブ	申込み締切日
生出地区	12月 2日(金)	・常緑老人クラブ	11月28日（月）
矢作地区	12月 9日(金)	・二又寿会	12月 5日（月）
下矢作地区	12月16日(金)	・下矢作老人クラブ	12月12日（月）

【問い合わせ】陸前高田市老人クラブ連合会事務局　担当：吉田（智）　直通携帯　☎ 080-5734-8675

令和４年度１１月号 りくぜんたかた社協だより（２０２２年１１月１６日発行）
【 編集／発行 】
社会福祉法人陸前高田市社会福祉協議会
〒０２９－２２０５　岩手県陸前高田市高田町字太田５１１番地
（陸前高田市保健福祉総合センター内）
◆ 電話番号　０１９２－５４－５１５０/５１５１
◆ ＦＡＸ　０１９２－５４－４７７５
◆ ホームページ　http://www.rikutakashakyo.jp/
この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。